

★平成30年度最北地区高校新人陸上競技大会
天童：NDソフトスタジアム 8月30日（木）～31日（金）

昨年度に続き悲願達成！ 男子4×400mRで見事2連覇達成!!!



昨年の同大会で先輩方が初優勝を遂げ、さらに今年の春の最北地区高校総体を制し、真校陸上競技部の新たな伝統となったマイルリレー。とてつもなく大きなプレッシャーがかかる中での大会でしたが、存分に力を発揮し2連覇を成し遂げることができました。真夏の練習量で培った自信はプレッシャーさえも跳ね除けるものでした。『努力は必ず報われる!』ということを小規模校の彼らが証明してくれました。





黒坂稜斗(真室川出身)
400mH優勝！



黒坂流星(真中出身)
走り高跳び優勝！

個人種目でも、新聞をにぎわせた通り真校生の活躍が光りました。黒坂康平（真中出身）は、1年生ながら200mと400mを制し、マイルリレーとあわせて3冠を達成しました。中学時代に活躍した選手とはいえ、一段レベルの上がる高校の試合でこの結果は本当に立派でした。

2年生の原田優華も個人で2冠を達成しました。しかしながら、もっと高いレベルでの競技を自分自身望んでいましたが、納得のいく結果とはならず課題の残る試合となりました。

他にも400mHで2年の黒坂稜斗（真室川出身）が優勝、走り高跳びでも2年の黒坂流星（真中出身）が優勝と、ランキング1位の力を示してくれました。



大塚涼太[新中出身]
100m準優勝！



400mR準優勝！

400mR（1走黒坂康平・2走大塚涼太・3走黒坂康平・4走田鎖智陽）も初優勝を狙って果敢に挑みましたが、相手のほうが1枚も2枚も上手で完敗の内容でした。もっともっと練習でスピードを上げなければならないと、みな反省したようです。

2年の大塚涼太は、個人の100mと200mで共に第2位と健闘しました。加えて400mR、1600mRもキーマンとして出場し、見事優勝と準優勝を勝ち取りました。2日間、大車輪の活躍を魅せてくれました。来シーズンは100mの優勝を勝ち取り『真校でスプリント種目完全制覇』を達成してほしいと思います。



個人でも新聞をにぎわせた通り、真校生の活躍が光りました。黒坂康平（真中出身）は、1年生ながら200mと400mを制し、マイルリレーとあわせて3冠を達成しました。中学時代に活躍した選手とはいえ、一段レベルの上がる高校の試合でこの結果は本当に立派でした。

県大会出場への出場は叶いませんでしたが、2年の大塚岳竜、鈴木優斗は800mと1500mに出場し、県大会出場まであと一步でした。1年の田鎖智陽も200mと400mに出場しましたが、個人での県大会出場はなりません。この悔しさをバネに、残りの記録会や大会で納得のできる結果が出るよう、部活動や強化練習を頑張ってください。